

伝える手段を広げるための ICT 活用

「コミュニケーションツールとしてのアプリ『カメラ』『写真』」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・言葉によるコミュニケーションが難しく、気になったものの指差しや簡単な手話でのコミュニケーションとなり、伝えたいことを相手に正確に伝えることが難しい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生活単元学習
	単元(題材)名	「『秋』を探して撮ってみよう」
教材・教具支援機器について	単元(題材)の概要	・写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 ・身近な自然に親しみ、そのよさや違いに気付くことができる。
	教材・教具支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ●タブレット端末 ・アプリ「写真」「カメラ」 ●大型モニタ  
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを使用した写真撮影や、保存された写真の閲覧ができる。 ○撮影した写真を比べることで、季節の変化を感じ取ることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の基本操作について、よさを感じ取ることができるよう、どんどん触れて使い方を確認できるようにした。 ・端末が変わっても活用できるように、汎用性のある標準アプリを使用した。
材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ「写真」「カメラ」	
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・伝わる喜びを感じ取ることができ、進んで写真を撮影し伝えることができた。 ・家庭においてもコミュニケーションツールとして活用する姿が見られた。 	

(令和4年度)